

品番 DCL-35339L・DCL-35339N・DCL-35362L・DCL-35362N

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

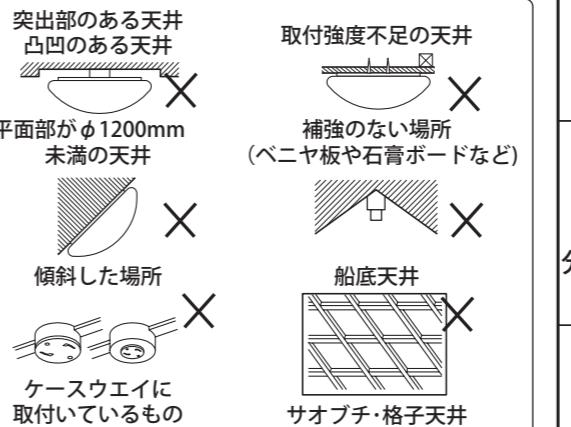
お客様へ

- ご使用の前に安全上のご注意と取扱説明をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 施工前に安全上のご注意と施工説明をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- 本説明書は大切に保管してください。

安全上のご注意

! 警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負うことが想定されます。

| | | | |
|--|---|--|--|
|  厳守 | <p>この器具は天井取付専用器具です。指定場所以外には取付けないでください。火災・落下の原因となります。</p>  |  禁止 | 周囲温度5~35°C以外では使用しないでください。火災の原因となります。 |
|  禁止 |  |  禁止 | 器具にその他の荷重をかけたり、布や紙等の可燃物で覆わないでください。火災・感電・落下の原因となります。 |
|  分解禁止 |  |  分解禁止 | 器具の改造、部品の変更は行わないでください。火災・感電・落下・転倒等の原因となります。 |
|  厳守 |  |  厳守 | 電源電圧は、器具銘板または本説明書に記載されている定格電圧でご使用ください。過電圧を加えるとランプ寿命が短くなるほか、部品が過熱し火災・感電の原因となります。 |
|  厳守 |  |  厳守 | 煙・臭い等の異常を感じたら、すぐに電源を切ってください。火災・感電の原因となります。異常がおさまったことを確認したのち、工事店、お買い上げの販売店、または当社「CSセンター」にご相談ください。 |

保証について

1. 保証について
この商品の保証期間は1年です
(安定器は3年)。但し、ランプ等の消耗品は除きます。
詳細は弊社カタログをご参照ください。

※保証期間の例外
24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。

2. 保証書について
保証書が必要な場合は、下記「CSセンター」までお申し出ください。

3. 補修用性能部品の保有期間
弊社は照明器具の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。
補修用性能部品(同等の機能を有する代替品含む)とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

点検とお手入れ方法

1. 明るく安全に使用するために6ヵ月に1回程度、点検および清掃を行うことをおすすめします。

(1)点検項目

- ランプが切れていませんか。
- 正常に点灯しますか。
- スイッチは正常に切り替りますか。
- 天井との取付部、各部品の合わせ目に異常なガタツキ、ゆるみはありませんか。
- 可動部は異常に動作しますか。
- 異常な臭い、音、発熱はありませんか。
- ガラス、プラスチック部品等に、ひび、割れ、変形等が発生していませんか。

(2)清掃

器具やランプにホコリがつくと、明るさを損なうばかりか、器具自体の寿命を短くします。

| 清掃箇所 | 清掃方法 |
|-------------------|--|
| 金属メッキ処理 金属塗装処理 | 傷つきやすい部分ですから、柔らかい布で1~2回軽く拭いてください。 |
| アクリル プラスチック | 薄めた中性洗剤を使用し、洗剤が残らないようによく水洗いしてそのまま乾かしてください。乾いた布で拭くと静電気が生じ、ホコリがつきやすくなります。(但し、金属部は除く) |
| 木・竹・藤 布・和紙 | こまめにハタキや柔らかいハケ、ブラシでホコリを落とし、目の細かい柔らかな布で軽く拭いてください。 |
| ガラス | 中性洗剤またはスプレー式ガラスクリーナーを使用したのち水洗いし、自然乾燥してください。消しグローブは素手でさわると指紋がつきます。ゴム手袋等を使用してください。 |

※ガソリン、シンナー、みがき粉、サンドペーパー、たわし等は使用しないでください。

2. 異常時の処置
異常を感じた場合は、速やかに電源を切って、販売店、工事店、または当社「CSセンター」までお申し出ください。(部品等の取り替えは勝手にしないでください。)

商品についてのご相談

照明器具の機能・性能等のお問合せは、下記までお電話ください。

CSセンター (0570)003-937(ナビダイヤル 全国共通)

受付時間(月～金曜) 9:00～17:00 土・日・祝祭日、夏季、年末年始休業日は受付しておりません。

- 施工前に施工説明をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- 本説明書は必ずお客様にお渡しください。

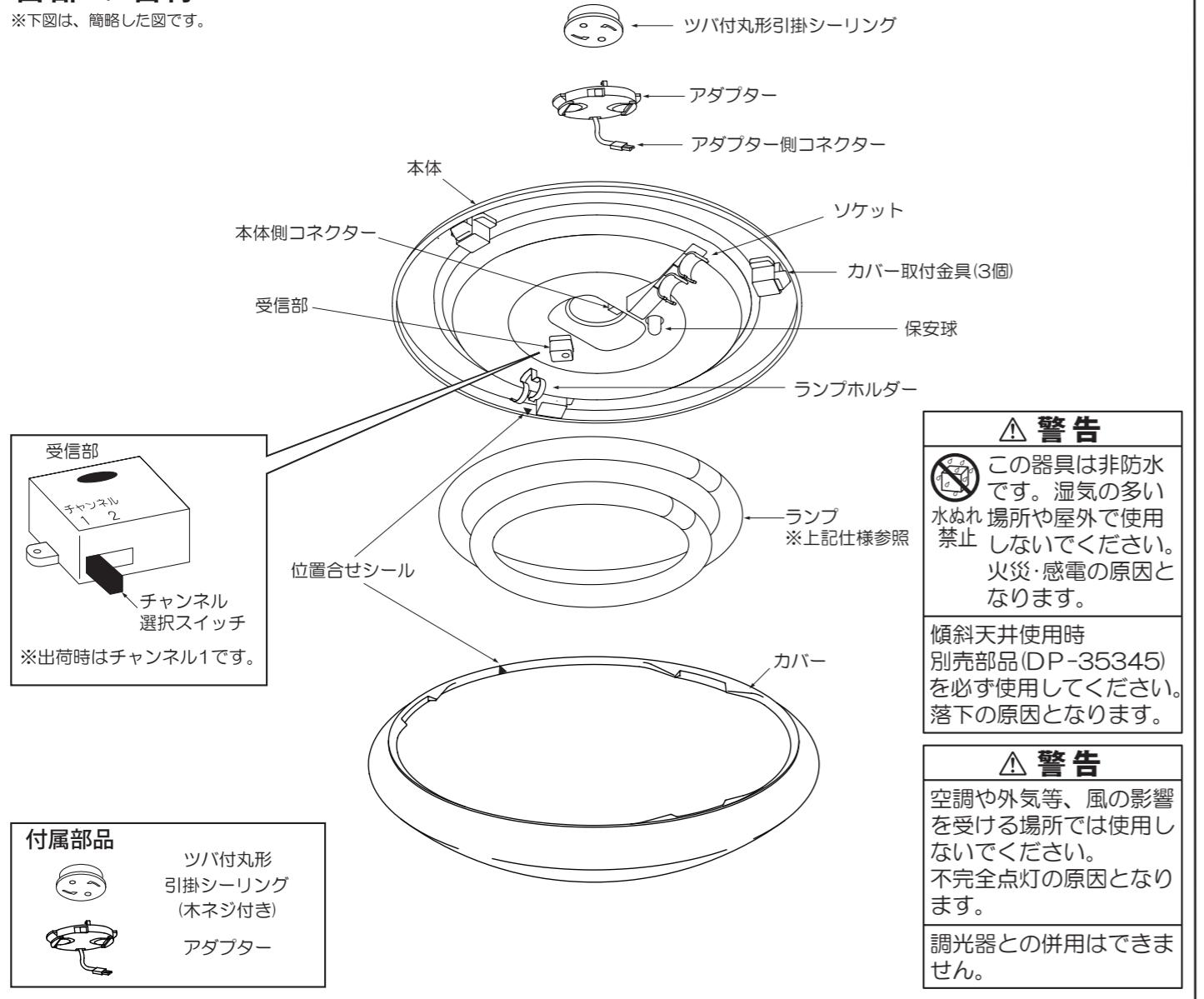
仕様

- 屋内天井取付専用器具です。
- 器具にはアクリルを使用しております。取扱いは丁寧に行ってください。
- インバータ(50Hz/60Hz兼用)器具です。

| 品番 | DCL-35339L・DCL-35362L | DCL-35339N・DCL-35362N |
|-------|--|--|
| 定格電圧 | 交流 100V | |
| 周波数 | 50/60Hz兼用 | |
| 消費電力 | 70W ※待機時 1W以下を要します。 | |
| 入力電流 | 0.71A | |
| 適合ランプ | FHC丸形蛍光灯 電球色 FHC34EL×1灯+FHC27EL×1灯 GZ10q | FHC丸形蛍光灯 昼白色 FHC34EN×1灯+FHC27EN×1灯 GZ10q |
| 適合保安球 | ナツメ球 5W E12 | |
| 器具重量 | 約3.0kg | |
| 電源接続 | 引掛シーリング | |

各部の名称

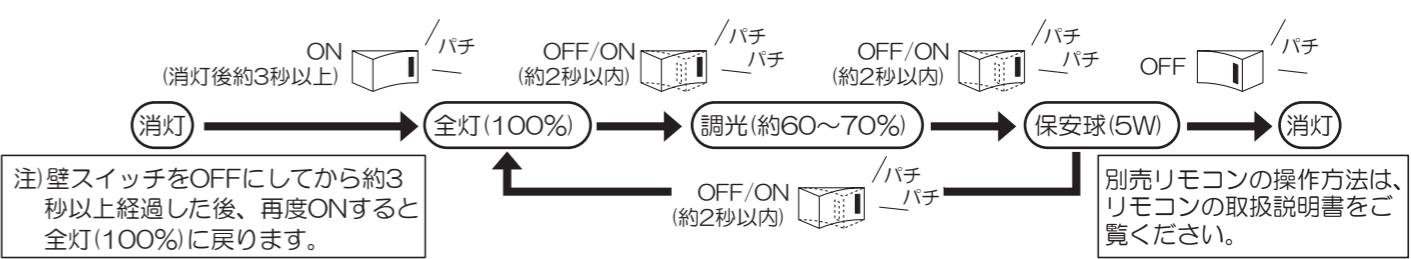
※下図は、簡略した図です。



- ご使用の前に安全上の注意と取扱説明をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

ご使用方法

- 点灯の切り替えは、壁スイッチで操作してください。下図の順に切り替わります。



ランプ交換方法

⚠ 警告 必ず電源を切り、器具とランプが冷めてから交換してください。感電・やけどの原因となります。

- ランプが黒化したり、ちらつきだしたら寿命です。すみやかに下記の手順で交換してください。

1. カバーを取外す → 2. ランプを交換する → 3. カバーを取付ける

- ランプは小さい方から順にセットしてください。
- ランプホルダーにはめ込んだ後、ソケットに根元まで確実に差し込んでください。



⚠ 警告

ランプは必ず器具表示または本説明書のものを使用してください。表示以外のランプを使用すると火災の原因となります。

ランプの取付けが不完全な場合、落下・不点・接触不良の原因となります。

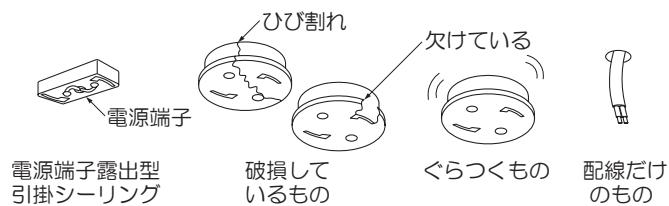
ご使用上のご注意

- 電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に動作しない場合があります。
- インバータ器具の近くで、ほかの光高周波方式リモコン器具を使用しないでください。誤動作の原因となります。
- インバータ器具の近くで、室内アンテナ使用のテレビやラジオを使用した場合、画像の乱れや雜音などが発生することがあります。
- 調光比は約60~70%ですが、室温、器具によって多少変化します。また調光状態になるまでに数秒かかることがあります。
- 室温が極端に低い場合、段階調光状態では点灯しないことがあります。100%点灯でご使用ください。
- 点灯、消灯時には、若干のきしみ音が発生しますが、異常ではありません。
- 長時間使わないときは、壁スイッチをOFFにしてください。壁スイッチをONの状態で万が一停電がおこった場合、電源復帰後は自動的に100%点灯(全灯)状態になります。
- 器具に殺虫剤等をかけないでください。カバー、グローブ等の落下・変質・変色の原因となります。
- ランプ交換の際、取扱いは交換ランプのケース表示に従い正しく行ってください。
- 冬等の周囲温度が低い場合、明るくなるまでに時間が掛かったり、ちらつきが発生することがありますが、異常ではありません。
- 天井の材質や構造によっては天井面が変色することがあります。

施工説明

① 配線器具を確認する

● 使用できないもの



⚠ 警告

上記のような配線器具には、器具を取付けないでください。
火災・感電・落下の原因となります。
配線器具の交換・取付けは資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。

● 使用できるもの



⚠ 警告

配線器具は充分な強度で取付けされていることを必ず確認してください。火災・感電・落下の原因となります。

② (別売リモコン使用時)受信部のチャンネル選択スイッチを確認する

● 別売のタイマー付リモコン(DP-34223)・タイマー付液晶リモコン(DP-35354)が使用できます。

● 照明器具2台を別々にリモコン操作したい場合は、右表のようにスイッチを合わせてください。

| 選択スイッチ | 器具台数 | 1台 |
|--------|------|----|
| 受信部側 | 1ch | |
| 送信部側 | 1ch | |

| 選択スイッチ | 器具台数 | 1台目 | 2台目 |
|--------|------|-----|-----|
| 受信部側 | 1ch | 2ch | |
| 送信部側 | 1ch | | 2ch |

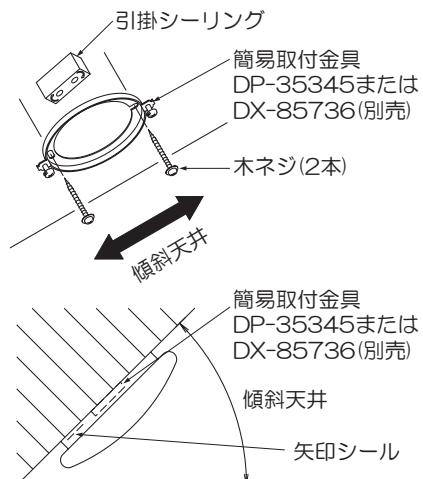
※受信部と送信部のチャンネルが違っていると、リモコン操作はできません。
(出荷時、照明器具及びリモコンのチャンネルは1です。)

※リモコンの詳細は別紙「取扱説明書」をご覧ください。

③ 傾斜天井(水平から45°)に取付ける場合

● 必ず別売の簡易取付金具DP-35345または、DX-85736を使用してください。

● 取付用木ネジおよび簡易取付金具DP-35345またはDX-85736(別売)の耳を傾斜天井に対して縦方向にして、引掛けシーリングが中央に入るよう、簡易取付金具を木ネジ(2本)で天井面の補強材のある位置に取付けてください。



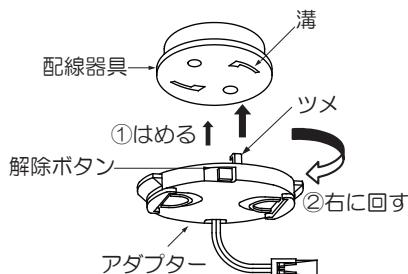
● 器具本体の矢印シールが傾斜方向の下側にくるように取付けてください。
● 取付け出来る傾斜天井の角度は水平面から45°です。

⚠ 警告

この器具は単体での傾斜天井への取付けはできません。傾斜天井(水平から45°)へ取付けの際は、上記条件をお守りください。指定以外の取付けは、落下によるけがの原因となります。

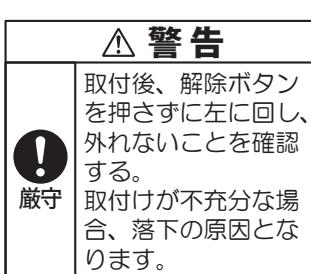
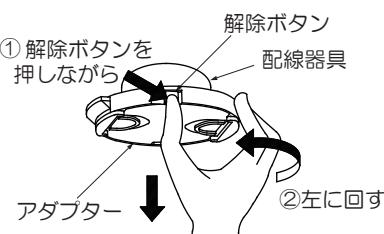
④ アダプターを取付ける(取付ける前に必ず電源を切ってから作業してください。)

● アダプター(ツメ)を配線器具(溝)に合わせ、音がするまで右に回してください。



<アダプターの取外し>

● アダプターの解除ボタンを押さえながら、左に回してください。



施工説明

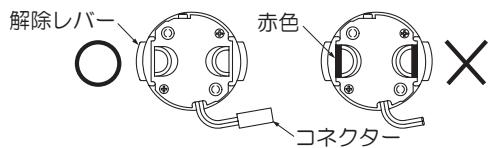
⑤ 本体を取付ける(器具本体の表示も必ず確認のうえ、作業してください。)

- 下記の配線器具(高さ)の種類により取付けが異なります。下記内容に従い取付けを行ってください。

- 本体(センター穴)をアダプターに合わせて、天井に密着するまで確実に押し上げて固定してください。



※アダプターの解除レバーの赤色が見えている場合は、本体センター穴付近を再度押し上げてください。



△ 警告



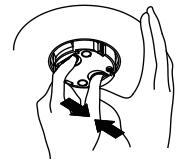
本体が次のような場合は、再度本体を押し上げてください。そのまま使用すると落下の原因となります。

- ガタガタする。
- 簡単に回転する。

注)取付けの際、ランプを持ったり押さないでください。

<本体の取外し>

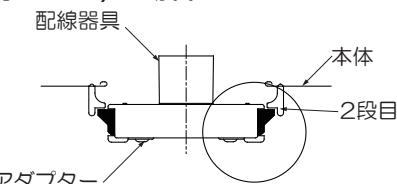
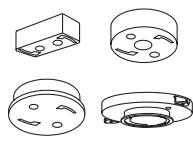
- 本体センター穴付近を片手で支えながら、解除レバーを中央側につまんでください。



△ 警告

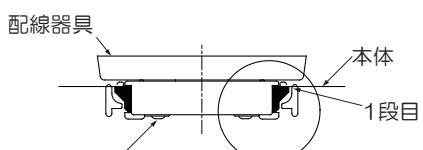
本体を支えないで外すと、本体が落下する原因となります。

※下記配線器具(高さ約22mm)の場合



※2段目まで押し上げてください。

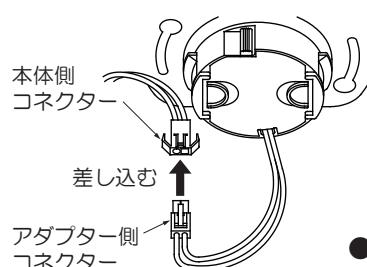
※下記配線器具(高さ約11mm)の場合



※1段目まで押し上げてください。

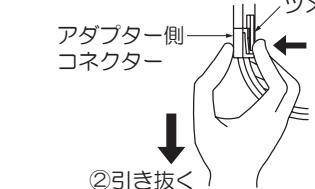
⑥ 電源を接続する

- アダプター側のコネクターを本体側コネクターに最後まで差し込み、確実に接続してください。(コネクターには方向性がある為、方向を合わせて接続してください。)



<コネクターの取外し>

- アダプター側コネクターのツメを押さえながら引き抜いてください。



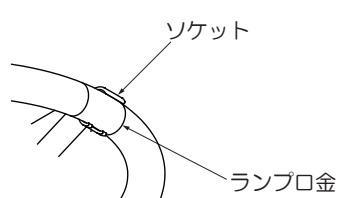
⑦ ランプを確認する

- ソケットにランプの口金が確実に接続しているかを確認してください。(ランプをさわる際、ランプロ金は無理に回さないでください。)

- 保安球がゆるんでいないかを確認してください。

△ 警告

ランプの取付けが不完全な場合、落下・不点・接触不良の原因となります。



⑧ カバーを取付ける

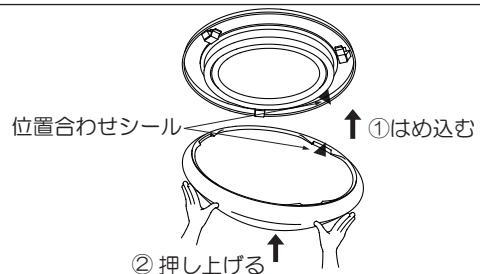
注)破損したカバーは、使用しないでください。落下の原因となります。

- 本体とカバーの位置合わせシールを合わせて、はめ込んでください。

- 音がするまで上に押し上げてください。カバーが確実に取付いていることを確認してください。

△ 警告

取付けが不完全な場合、落下の原因となります。



⑨ 使用前に確認する

- 取付状態・点灯状態を確認してください。